

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 日本ロジテム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9060 URL http://www.logitem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 弘毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 川口 要 TEL 03-3433-6711  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	40,153	1.9	647	△20.8	665	△26.7	401	△10.7
2020年3月期第3四半期	39,404	7.0	817	230.9	908	238.1	448	286.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 229百万円 (△26.4%) 2020年3月期第3四半期 312百万円 (438.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	293.08	—
2020年3月期第3四半期	328.11	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	39,280	11,306	28.5	8,187.47
2020年3月期	38,230	11,190	29.0	8,100.14

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,203百万円 2020年3月期 11,084百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	△2.4	700	△37.1	670	△45.3	400	△34.7	292.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	1,383,310株	2020年3月期	1,383,310株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	14,967株	2020年3月期	14,922株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	1,368,346株	2020年3月期3Q	1,368,401株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が悪化し、厳しい状況が続きました。5月に緊急事態宣言が解除され、社会経済活動の段階的な再開や経済対策等による景気の持ち直しが期待されたものの、秋口以降、再び感染症が拡大に転じ、緊急事態宣言の再発出が模索されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する物流業界につきましては、「巣ごもり需要」の増加に伴い一部企業の荷動きが活発化した一方で、生産活動の停滞や個人消費の落ち込み等により企業間物流は伸び悩み、取扱数量が総じて低調となるなど、取り巻く環境は厳しいものでありました。

このような状況の中、当社グループは社会情勢の急激な変化に対応しながら、新たな中期経営計画（2020年度から2022年度まで）においてテーマとした「強固な収益基盤づくり」および「環境変化に適応できる体制づくり」に取り組んでまいりました。

国内につきましては、通販関連をはじめ得意先との取引深耕に注力するとともに、輸送力の強化や前連結会計年度に開設した拠点の安定稼働に取り組みました。また、新たな営業展開として埼玉県坂戸市および神奈川県平塚市に開設する新拠点の立ち上げ準備を進めました。さらに、省人化・効率化に資する先端技術（AI・IoT等）の導入に向けた検討を深めました。

海外につきましては、感染症の影響によりクロスボーダー輸送等の国際物流や輸出入業務が停滞する中、ベトナムおよびタイにおいて拠点を拡充するなど営業体制の強化を図りながら、各国内での営業活動を推進いたしました。

これらの取り組みにより、営業収益は、インテリアやアパレル等の荷動き低下、海外事業の落ち込み等があったものの、通販関連の取扱量が増加したこと、新規得意先の業務開始等によりアセット事業が拡大したことなどから、増収となりました。一方、営業利益および経常利益は、一部の得意先における流通加工業務の減少や作業効率化の遅れにより利益率が悪化したほか、海外において営業収益の減少に伴い利益の確保が厳しい状況にあったこと、さらに感染症対策に関連する費用が発生したことなどから、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、減損損失を計上した前年同期と比べ特別損失が減少したものの、経常利益の減少に伴い減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は401億53百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は6億47百万円（前年同期比20.8%減）、経常利益は6億65百万円（前年同期比26.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億1百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①貨物自動車運送事業

需要の拡大により食品や通販関連の輸送量が増加したことに加えて、料金適正化への取り組みが進捗したこと、配送効率向上を進めた効果があったことなどから、増収増益となりました。

その結果、営業収益は、174億13百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は、13億3百万円（同20.7%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の43.4%を占めております。

## ②センター事業

営業収益につきましては、通販関連の取り扱いが拡大したことなどから、増収となりました。セグメント利益につきましては、インテリアやアパレルの低調な荷動きを受け流通加工業務が減少したこと、新たな取扱品目に対する作業の効率化向上に時間を要したことなどから、損失となりました。

その結果、営業収益は、92億22百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント損失は、70百万円（前年同期はセグメント利益3億75百万円）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の23.0%を占めております。

### ③アセット事業

営業収益につきましては、通販関連の保管面積が拡大したこと、前連結会計年度に開設した拠点を中心に新規得意先の保管業務等を開始したことなどから、増収となりました。セグメント利益につきましては、一部拠点において得意先移転に伴う倉庫稼働率の低下があったことなどから、減益となりました。

その結果、営業収益は、94億61百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は、8億40百万円（同0.8%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の23.5%を占めております。

### ④その他事業

営業収益につきましては、国際貨物の荷動き停滞に伴い国内外で輸出入関連事業が縮小したこと、施工関連事業および海外における旅客自動車運送事業が低調な推移となったことなどから、減収となりました。セグメント利益につきましては、引越移転事業において前連結会計年度中に実施した営業拠点移転により費用が低減したことなどから、増益となりました。

その結果、営業収益は、40億56百万円（前年同期比7.3%減）、セグメント利益は、4億52百万円（同5.7%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の10.1%を占めております。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、受取手形及び営業未収入金が4億81百万円増加したこと等により、4億35百万円増加し、126億72百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末に比べて、建物及び構築物（純額）が5億40百万円、敷金及び保証金が2億92百万円増加したこと等により6億14百万円増加し、266億7百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて10億49百万円増加し、392億80百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、賞与引当金が2億23百万円減少したものの、短期借入金が増加した8億20百万円増加したこと等により4億円増加し、139億48百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が増加した7億75百万円増加したこと等により5億33百万円増加し、140億25百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて9億34百万円増加し、279億73百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、利益剰余金が増加した2億91百万円増加したものの、為替換算調整勘定が1億70百万円減少したこと等により1億15百万円増加し、113億6百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点では業績が概ね想定どおりに推移しており、2020年8月7日に公表いたしました予想値の修正はございません。

今後、修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,743,062	3,023,382
受取手形及び営業未収入金	6,926,764	7,407,867
その他	1,568,407	2,242,093
貸倒引当金	△1,172	△908
流動資産合計	12,237,061	12,672,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,548,736	4,089,255
土地	6,466,972	6,516,130
リース資産(純額)	5,041,572	4,933,208
その他(純額)	1,739,359	1,673,073
有形固定資産合計	16,796,641	17,211,667
無形固定資産	972,298	961,153
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,849,518	6,142,349
その他	2,453,457	2,367,154
貸倒引当金	△78,492	△74,573
投資その他の資産合計	8,224,483	8,434,930
固定資産合計	25,993,422	26,607,752
資産合計	38,230,484	39,280,187
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,017,334	2,872,642
短期借入金	6,598,191	7,418,402
賞与引当金	370,136	146,683
その他	3,562,215	3,510,867
流動負債合計	13,547,878	13,948,596
固定負債		
長期借入金	6,720,929	7,496,648
リース債務	4,699,309	4,551,557
役員退職慰労引当金	198,239	209,782
退職給付に係る負債	204,332	226,805
その他	1,668,948	1,540,407
固定負債合計	13,491,758	14,025,201
負債合計	27,039,637	27,973,797
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,145,955	3,145,955
資本剰余金	3,190,072	3,190,072
利益剰余金	5,222,449	5,514,013
自己株式	△37,283	△37,498
株主資本合計	11,521,193	11,812,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,234	53,819
為替換算調整勘定	△543,243	△713,657
退職給付に係る調整累計額	62,948	50,564
その他の包括利益累計額合計	△437,060	△609,272
非支配株主持分	106,714	103,120
純資産合計	11,190,846	11,306,389
負債純資産合計	38,230,484	39,280,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益	39,404,980	40,153,576
営業原価	36,672,294	37,625,809
営業総利益	2,732,686	2,527,766
販売費及び一般管理費		
人件費	1,186,271	1,197,043
その他	728,828	683,258
販売費及び一般管理費合計	1,915,099	1,880,302
営業利益	817,586	647,463
営業外収益		
受取利息	22,312	13,916
受取配当金	8,195	7,481
受取手数料	11,669	8,258
受取保険金	13,458	11,286
持分法による投資利益	26,255	48,255
物品売却益	—	9,102
違約金収入	40,105	—
営業譲渡益	28,000	—
その他	53,092	43,471
営業外収益合計	203,089	141,771
営業外費用		
支払利息	104,355	108,874
為替差損	2,452	3,701
その他	5,106	10,775
営業外費用合計	111,914	123,351
経常利益	908,761	665,883
特別利益		
固定資産売却益	106,183	56,355
受取損害賠償金	—	7,129
特別利益合計	106,183	63,484
特別損失		
固定資産除売却損	151	1,365
投資有価証券評価損	—	12,500
減損損失	191,442	—
その他	17,228	—
特別損失合計	208,822	13,865
税金等調整前四半期純利益	806,123	715,502
法人税、住民税及び事業税	249,406	171,613
法人税等調整額	101,925	140,121
法人税等合計	351,331	311,734
四半期純利益	454,791	403,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,804	2,734
親会社株主に帰属する四半期純利益	448,986	401,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	454,791	403,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,017	10,510
為替換算調整勘定	△98,086	△159,743
退職給付に係る調整額	△31,727	△12,383
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,821	△12,561
その他の包括利益合計	△142,653	△174,178
四半期包括利益	312,137	229,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,823	228,821
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,686	768



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	17,080,267	9,121,119	8,828,396	35,029,784	4,375,196	39,404,980	-	39,404,980
セグメント間の内部収益 又は振替高	-	-	19,408	19,408	-	19,408	△19,408	-
計	17,080,267	9,121,119	8,847,805	35,049,192	4,375,196	39,424,389	△19,408	39,404,980
セグメント利益	1,080,383	375,270	847,061	2,302,715	428,752	2,731,467	△1,913,881	817,586

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2. セグメント利益の調整額△1,913,881千円は、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「センター事業」および「アセット事業」セグメントの事業用資産について、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったため、事業用資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「センター事業」セグメントが1,722千円、「アセット事業」セグメントが189,720千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター事業	アセット事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	17,413,669	9,222,391	9,461,227	36,097,288	4,056,287	40,153,576	-	40,153,576
セグメント間の内部収益 又は振替高	-	-	20,894	20,894	-	20,894	△20,894	-
計	17,413,669	9,222,391	9,482,121	36,118,182	4,056,287	40,174,470	△20,894	40,153,576
セグメント利益又は損失 (△)	1,303,822	△70,494	840,500	2,073,828	452,989	2,526,818	△1,879,354	647,463

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,879,354千円は、セグメント間取引消去及び各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。